



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社CAC Holdings 上場取引所 東
 コード番号 4725 URL <https://www.cac-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西森良太
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ長 (氏名) 酒井伊織 (TEL) 03 (6667) 8010
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	37,555	5.5	2,336	△12.0	2,133	△15.5	1,440	△12.2
2022年12月期第3四半期	35,595	△3.2	2,655	△18.8	2,525	△20.6	1,641	△27.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,621百万円(-%) 2022年12月期第3四半期 △525百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	84.61	—
2022年12月期第3四半期	97.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	48,651	30,329	61.7
2022年12月期	44,213	29,300	64.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 30,036百万円 2022年12月期 28,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年12月期	—	40.00	—		
2023年12月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	4.2	3,300	3.5	3,200	1.3	2,200	5.1	129.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	20,541,400株	2022年12月期	20,541,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	3,495,689株	2022年12月期	3,537,978株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	17,027,368株	2022年12月期3Q	16,920,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については添付資料をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) セグメント別連結受注高	10
(2) セグメント別連結受注残高	10
(3) 業種別連結売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日、以下「当第3四半期」）の売上高については、国内IT事業における連結除外の影響があったものの、インド子会社の大型案件や為替の影響等により、前年同期比5.5%増加の375億55百万円となりました。営業利益については、前連結会計年度より開始した中期経営計画に基づき成長基盤醸成のための投資を実施したこと等から同12.0%減少の23億36百万円となり、経常利益は同15.5%減少の21億33百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同12.2%減少の14億40百万円となりました。

当社グループでは、変化が激しい昨今の状況下において短期的な変動に左右されず持続的な成長を目指すため、長期的なありたい姿としてCAC Vision 2030「テクノロジーとアイデアで、社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ」を掲げています。CAC Vision 2030ではCACグループにおけるAIやIoT等のデジタル技術やデータを活用したソリューションにより人ならではの多様な想像力や創造力を発揮させ、社会課題の解決につなげてまいります。そしてこのようなポジティブインパクトを与えるデジタルソリューションを定常的に生み出し成長させることで、高収益・高成長の企業グループとなることを目指してまいります。

CAC Vision 2030の実現に向けた中期経営計画（2022年度～2025年度）は、国内外における既存受託事業での安定した収益の確保と、2026年度以降に向けてデジタルプロダクト&サービスを継続的に生み出す仕組みの構築を行う期間としています。今年度は、中期経営計画2年目として、成長基盤の醸成に向けて継続的に新規事業を立ち上げていくとともに、人材採用や人材育成を引き続き強化してまいります。あわせて、海外子会社の構造改革やグループガバナンスの強化、組織風土改革も推進してまいります。

セグメントごとの業績は次のとおりです。売上高につきましては、外部顧客への売上高を表示しています。また、第1四半期連結会計期間よりセグメント利益の算出方法を変更しており、各セグメントに配分していない全社費用を調整額として表示しています。なお、前第3四半期連結累計期間の数値についても同様に変更して表示しています。

売上高

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
国内IT	27,004	75.9%	26,635	70.9%	△368	△1.4%
海外IT	8,591	24.1%	10,919	29.1%	2,328	27.1%
合計	35,595	100.0%	37,555	100.0%	1,959	5.5%

セグメント利益

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		前年同期比	
	セグメント利益	利益率	セグメント利益	利益率	金額	増減率
国内IT	2,845	10.5%	2,581	9.7%	△264	△9.3%
海外IT	843	9.8%	850	7.8%	7	0.9%
調整額	△1,033	-	△1,096	-	△63	-
合計	2,655	7.5%	2,336	6.2%	△319	△12.0%

<国内IT>

既存事業は総じて堅調に推移したものの、子会社1社を連結範囲から除外した影響により、売上高は266億35百万円（前年同期比1.4%減）となりました。セグメント利益は成長基盤の醸成に向け、人的資本投資や新規事業開発を推進したこと等による販売管理費の増加や連結除外の影響により25億81百万円（同9.3%減）となりました。

<海外IT>

インド子会社の伸長や為替の影響等から、売上高は109億19百万円（前年同期比27.1%増）となりました。セグメント利益は、増収の影響があったものの、インド子会社にて不採算事業であったドバイ拠点（当社孫会社）の整理をはじめとした構造改革にまつわる費用の増加やインドネシア子会社におけるエンジニア人件費の増加等により8億50百万円（同0.9%増）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて44億38百万円増加して486億51百万円となりました。主な変動要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が34億59百万円増加、投資有価証券が19億45百万円増加した一方、有価証券が13億円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて34億9百万円増加して183億22百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が20億77百万円増加、短期借入金が4億35百万円増加、賞与引当金が1億25百万円増加、繰延税金負債が1億54百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10億29百万円増加して303億29百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が2億48百万円増加、その他有価証券評価差額金が4億57百万円増加、為替換算調整勘定が6億89百万円増加した一方、非支配株主持分が3億86百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期までの業績は、連結業績予想に対して概ね想定通りに進捗していると判断しています。為替変動や顧客のIT投資動向の変化等先行き不透明な点もありますが、インド子会社の構造改革に一定の目途がついたこと等による収益性の向上を見込んでいることから、現時点におきましては2023年2月14日に公表しました2023年12月期の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,491	11,481
受取手形、売掛金及び契約資産	9,287	12,746
有価証券	1,300	-
商品	56	172
仕掛品	174	290
貯蔵品	14	7
その他	1,751	2,445
貸倒引当金	△316	△303
流動資産合計	24,758	26,840
固定資産		
有形固定資産	1,489	1,584
無形固定資産		
のれん	763	1,239
その他	1,092	903
無形固定資産合計	1,856	2,143
投資その他の資産		
投資有価証券	14,543	16,489
繰延税金資産	346	311
その他	1,221	1,286
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	16,108	18,083
固定資産合計	19,454	21,811
資産合計	44,213	48,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,172	5,249
短期借入金	606	1,042
未払法人税等	432	343
賞与引当金	851	977
関係会社事業損失引当金	20	16
資産除去債務	297	296
その他	3,818	4,762
流動負債合計	9,199	12,688
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付に係る負債	2,225	2,086
資産除去債務	227	228
繰延税金負債	875	1,029
その他	383	288
固定負債合計	5,713	5,633
負債合計	14,912	18,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,702	3,702
資本剰余金	3,749	3,740
利益剰余金	20,498	20,747
自己株式	△4,267	△4,215
株主資本合計	23,683	23,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,293	4,751
為替換算調整勘定	461	1,150
退職給付に係る調整累計額	182	159
その他の包括利益累計額合計	4,936	6,061
非支配株主持分	679	292
純資産合計	29,300	30,329
負債純資産合計	44,213	48,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	35,595	37,555
売上原価	26,982	28,519
売上総利益	8,612	9,035
販売費及び一般管理費	5,957	6,699
営業利益	2,655	2,336
営業外収益		
受取利息	27	92
受取配当金	38	40
為替差益	196	101
持分法による投資利益	19	27
債務勘定整理益	43	23
その他	65	74
営業外収益合計	389	359
営業外費用		
支払利息	51	58
コミットメントフィー	5	5
投資事業組合運用損	375	426
その他	87	72
営業外費用合計	520	562
経常利益	2,525	2,133
特別利益		
投資有価証券売却益	212	554
関係会社株式売却益	-	31
関係会社事業損失引当金戻入額	152	-
その他	-	25
特別利益合計	364	612
特別損失		
投資有価証券評価損	79	-
特定プロジェクト対策損失	-	101
事業所改装関連費用	-	227
その他	0	-
特別損失合計	80	328
税金等調整前四半期純利益	2,809	2,418
法人税、住民税及び事業税	731	1,008
法人税等調整額	373	△69
法人税等合計	1,104	938
四半期純利益	1,704	1,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,641	1,440

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,704	1,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,924	457
為替換算調整勘定	736	707
退職給付に係る調整額	△42	△23
その他の包括利益合計	△2,230	1,142
四半期包括利益	△525	2,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△610	2,565
非支配株主に係る四半期包括利益	84	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT	海外IT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,004	8,591	35,595	—	35,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	246	1,328	1,575	△1,575	—
計	27,250	9,920	37,170	△1,575	35,595
セグメント利益	2,845	843	3,689	△1,033	2,655

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,033百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外IT」において、2019年10月18日に行われたMitrais Pte. Ltd.の株式取得における条件付取得対価の支払いが確定したことにより、新たにのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において348百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT	海外IT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,635	10,919	37,555	—	37,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	181	1,044	1,225	△1,225	—
計	26,817	11,964	38,781	△1,225	37,555
セグメント利益	2,581	850	3,432	△1,096	2,336

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,096百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

報告セグメントごとの経営成績をより適切に評価するため、第1四半期連結会計期間より、当社の一般管理費は各報告セグメントへの配賦を行わずに、セグメント利益の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国内IT」において、第2四半期連結会計期間に実施した事業譲受により、のれんが522百万円発生しております。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) セグメント別連結受注高

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	29,609	75.8%	29,278	68.3%	△330	△1.1%
海外IT	9,451	24.2%	13,564	31.7%	4,113	43.5%
合計	39,060	100.0%	42,843	100.0%	3,782	9.7%

(注) 外部顧客への受注高を表示しております。

(2) セグメント別連結受注残高

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)		当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	10,921	71.8%	11,535	64.0%	613	5.6%
海外IT	4,289	28.2%	6,480	36.0%	2,190	51.1%
合計	15,211	100.0%	18,016	100.0%	2,804	18.4%

(注) 外部顧客への受注残高を表示しております。

(3) 業種別連結売上高

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	11,254	31.6%	13,455	35.8%	2,200	19.6%
製薬	6,034	17.0%	6,178	16.5%	143	2.4%
製造	5,658	15.9%	5,229	13.9%	△429	△7.6%
情報・通信	5,573	15.7%	5,497	14.6%	△75	△1.4%
サービス業など	7,073	19.8%	7,194	19.2%	120	1.7%
合計	35,595	100.0%	37,555	100.0%	1,959	5.5%

(注) 外部顧客への売上高を表示しております。